



ロジカルシンキングの基礎①

株式会社トップリーダーズ：細谷 知司





Menu

1. ロジカルシンキングが必要な理由
2. ロジカルシンキングとは
3. 基本となる6つのステップ
4. 基盤となる3つの要素

1. ロジカルシンキングが必要な理由



Top Leaders

☑ 2つの大きな「変化」

⇒① テクノロジーの発達、② 価値観の多様化

☑ 目的＝仕事で成果を出すために

⇒共通の「型」を使って、効率＝生産性を高めていく

2. ロジカルシンキングとは



Top Leaders

☑ 「論理」という言葉の意味

⇒言葉と言葉、文と文との「つながり」が理論である

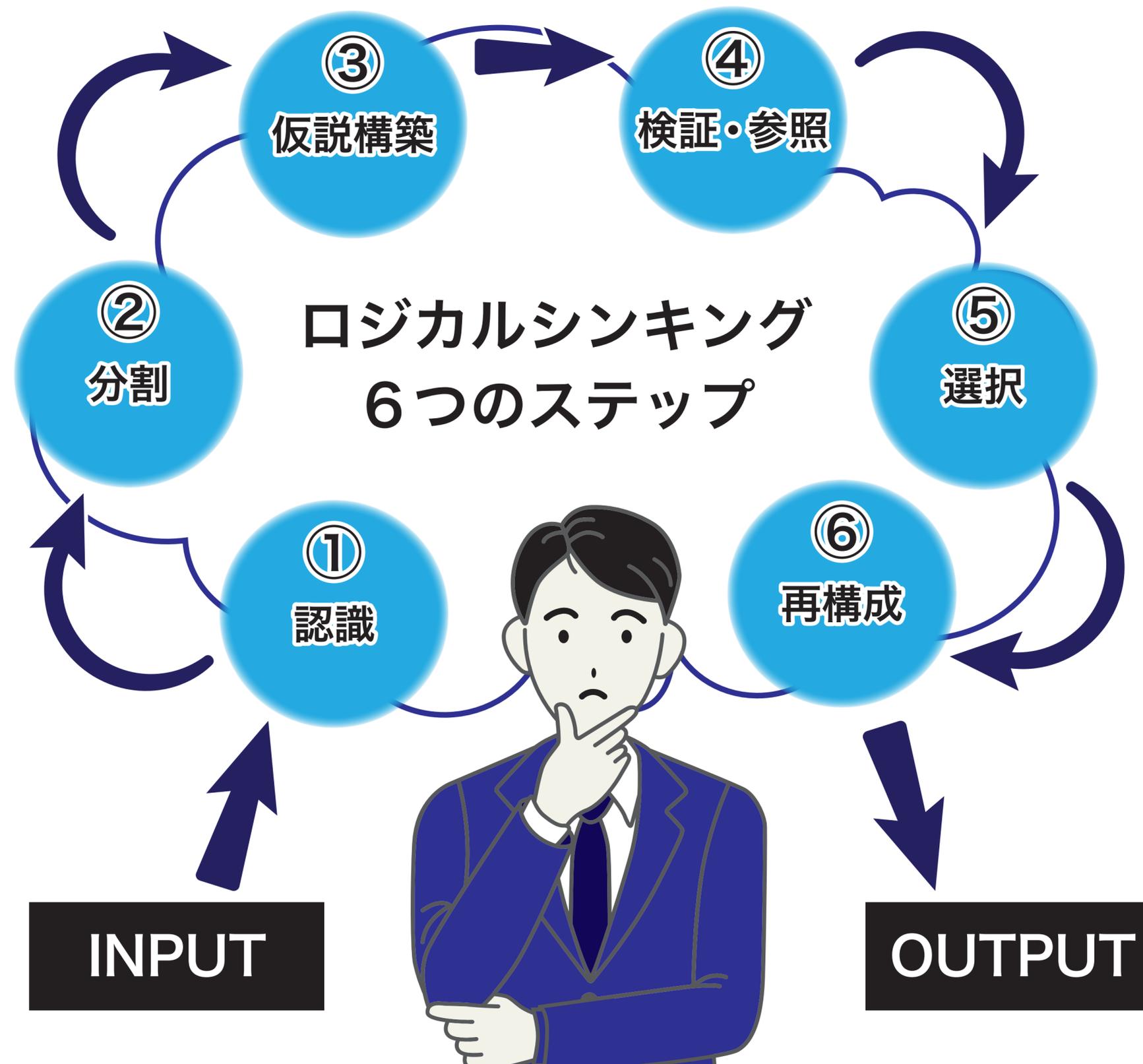
☑ つながりに注意して考える = ロジカルシンキング

⇒難しいフレームワークなど使う必要はない

3. 基本となる6つのステップ



- ① 認識：課題を正確に認識する
- ② 分別：より小さな課題に分割する
- ③ 仮説構築：解決に向けて仮説を構築する
- ④ 検証・参照：知識や過去の経験に照らし検証する
- ⑤ 選択：最適な答えの組み合わせを選択する
- ⑥ 再構築：伝わる言葉に再構築する



4. 基盤となる3つの要素



☑ ロジカルシンキングを支える3つの要素を理解する

① 接続詞：つながりを生み出すのはまさに接続詞

② 疑問詞：接続詞を導くのは疑問詞（6W2Hを押さえる）

③ 演繹法：仮説→証明の順番で考えることが重要

ex. 帰納法：事実→理論の順番。答えのない問に適している